

ひとときの歌 25 ～優しき眼差し～

S.フォスター

懐かしきケンタッキーの我が家

夢見る人

金髪のジェニー

厳しい時代ようくるな

R.クイルター

愛の哲学

花々眠りにつき

音楽はその声が途絶えようと

武満 徹

死んだ男の残したものは

翼

小さな空

F.シューベルト 音楽に寄せて

R.シューマン 私の薔薇

H.ヴォルフ 古画に寄せて

R.シュトラウス あした!

G.フォーレ 祈り

E.サティ やさしく

C.ドビュッシー 聖母に祈るため母の頼みでヴィヨンが歌いしバラード

我が想い風になり

童神

宮古の子守歌

島唄

谷 篤 朗読・歌

三重県津市生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。日、仏、独、伊、露、英の古典から現代までの歌曲をレパートリーとして活動。邦人作品の初演、新作オペラへの出演も数多く、バリトンからカウンターテナーの音域までを歌う他に類の無い卓越した表現力と演技力は高い評価を得ている。「歌の行方・3回」、「うみたてたまごうた・11回」、「ひとときの歌・24回」を企画主催。14作品委嘱初演。現代音楽の主要コンサートに出演多数。邦楽器との共演も多い。87～99年「オペラシアターこんにゃく座」客演。小学館刊行「林光の音楽」に「骨片の歌」、「苦行…1974」のライヴ演奏録音収録。01年NHKTV「その時歴史が動いた～天心の恋」に出演。語り手として、17年よりマイクを使わない朗読「谷篤ドラマティックリーディング」を公演。音楽と朗読のための「イノック・アーデン」、「兵士の物語」、「プラテロと私」を翻訳、公演。シューマンのピアノ曲とともに朗読する詩集「エオリアンハーブ」、「シューマンの情景」を作詩、公演。山本周五郎原作「鼓くらべ～朗読とピアノのための」作曲、公演。99年NHKラジオ第2放送「武満徹エッセイ集 全11回」朗読。東京藝術大学音楽学部非常勤講師を37年間勤める。歌曲伴奏法を担当、歌曲のピアノ表現を指導。日本大学芸術学部映画学科非常勤講師。俳優を志す学生に歌による自己表現を指導。

揚原 祥子 ピアノ

北海道旭川市生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学ピアノ科を首席で卒業、同大学院修士課程修了。大学院在学中、明治安田クオリティオブライフ文化財団の奨学金を得てハンガリー国立リスト音楽院に留学。大学在学中、第58回日本音楽コンクール第1位、野村賞、井口賞受賞。日本ショパン協会147回例会でデビュー。学内にて安宅賞受賞。ドイツの電力会社に招かれ、デュッセルドルフ、エッセン、ケルンで演奏会に出演、留学中にはハンガリーでリサイタルを行う。ヴァイオリニスト・安井優子氏と第6回日本室内楽コンクール第3位受賞、1996年より同氏と「ふたりの音楽会」(9回)を東京、京都、横浜で企画開催。第一生命ホールオープニング特別演奏会、キタラホール10周年記念コンサートなどに出演。日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、大阪シンフォニカー、モーツァルト・ヴィルトゥオーゾ祝祭管弦楽団等のオーケストラと共演。NHK-FM「FMリサイタル」「名曲リサイタル」出演。音楽之友社より3枚のCDをリリース。現在、ソロや歌曲伴奏、室内楽の活動を行っているほか、アウトリーチ活動や、R.シュトラウス「イノック・アーデン」などの朗読とピアノの作品にも取り組む。千葉大学大学院教育学研究院教授。教科用図書検定調査審議会臨時委員。